

ヤブカンゾウ (藪萱草)

名前の意味：^{いみ}藪に生える^{やぶ}萱草^{かんぞう}の意味。萱草は中国語の名前で、葉がカヤのような草という意味。

分類：単子葉類、ユリ科、カンゾウ属

(ユリ科の^{さいばいしょくぶつ}栽培植物：アスパラガス、ネギ、タマネギ、ニラ、チューリップ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた(自生^{じせい})？

特徴：2列に生える真中がくぼんだ細長い葉、オレンジ色の^{やえ}八重の花。

種子の運ばれかた：種子はできない

花弁の数：^{りべん}離弁、多数(6枚以上)

花の時期：5－6月

食べ方：若葉をゆでて^{すみそ}酢味噌あえにする

見分け方：ノカンゾウは、花びらが6枚。葉はやや細いが、見分けるのは花がないと^{むつか}難しい。ノカンゾウは千葉県ではめったに生えていない。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★★★★

^{そうごうなんいど}総合難易度 ★★★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)